

卒業生・在校生からのメッセージ

歴史を通して将来につながるリテラシー能力を

人文社会コースでの経験は、私の高校授業に対するイメージとはかけ離れたものでした。歴史分野での小論文形式の試験や、学期末ごとのレポート課題など初めての経験ばかりでした。しかし大学生になった今、それらの経験が役立っていると実感しています。「今現在までに論文を書いた経験があるか」という大学側からの質問に、全くないと答えた学生が数多くいました。勿論、初めてでも上手く課題をこなす人もいるかもしれませんが、私の高校での経験が糧になることも確かです。

地域の歴史を学ぶフィールドワークも人文社会コースの大きな魅力です。毎日なにげなく歩く道なども資料を読み解きながら訪れてみると、その日からイメージが変わります。当初は歴史が得意なわけでも、興味があったわけでもありませんでした。しかし身の回りの道や建物がよく知っているようで知らないことだらけである事実、心が突き動かされました。

資料と向き合いそれを文字にすることで、頭の中の答えを明確にできる。視点を変えることで新しい答えを見つけることができる。このような過程を通じてリテラシー能力(読み書き能力)が身に付きます。古の歴史を通して、将来につながる力を身に付けたいと思いませんか？



<卒業生>

さいとう まなひろ
齋藤 修君

滋賀大学 経済学部
経済学科

(平成 24 年度
人文社会コース卒業)



<卒業生>

いちい ゆうや
一井 佑弥君

京都橘大学 健康科学部

理学療法学科

(平成 24 年度
健康福祉コース卒業)

実際の医療現場で看護実習 大変だったレポート課題

大学では理学療法(主にリハビリ)のことや解剖学(骨、筋肉、内臓などの働き)などを学習しています。大学での学びには、高校で学習していた生物や医療福祉の授業が非常に役立っていると感じます。生物の授業では医療関係の仕事に不可欠な知識を身に付けました。医療福祉の授業では様々な職種の医療従事者の仕事内容を学んだり、実際に病院や専門学校などに行って看護実習などを行ったりしました。

洛東高校以外ではなかなか学べないことが学習できて、凄く満足しています。この授業では毎回レポート提出の課題があり、高校生の時はレポートが非常に大変だと感じました。しかし大学の授業ではレポートの課題が頻繁にあるので、高校生のうちにレポートを書く土台が出来てとても良かったと思います。

行事では文化祭が思い出に残っています。特に3年生の演劇は、脚本から小道具までクラス一丸となって作り上げるので非常に思い出に残ります。そこで培った自発性や協調性は将来的にも必ず役に立つと思います。

洛東高校ならではの天体の授業

私は現在洛東高校の3年で、宇宙と自然の科学コースに在籍しています。このコースでは、2年になると「宇宙と地球の科学」という授業があります。内容は少々難しいところがありますが、新しく聞ける話が沢山ありとても楽しいです。金環日食や金星の太陽面通過の時期には、詳しく学ぶだけでなく、知識をもとに実際に屋上で観測しました。今まさに起こっている天体の動きについて学ぶことは非常に貴重な経験で、こんな授業ができるのは洛東高校ならではのようです。

また、私はフォークソング研究部に入っていました。文化部ですが運動部のように言葉づかいや挨拶に厳しく、とてもやり甲斐があります。ほぼ毎月、発表会をして、とても楽しいです。ほかの部活動も充実していて種類も豊富なので、高校生活を満喫したいなら部活動に入るべきです。



<在校生>

のざわ しづき
野澤 詩月さん

(宇宙と自然の科学
コース在籍)